

事業所名

独立行政法人国立病院機構兵庫あおの病院

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

2025年

1月

23日

法人（事業所）理念		重症心身障害児（者）医療と一般医療の機能を併せ持った医療施設としての専門知識・技術の蓄積を地域への福祉増進に役立てるため努力していきます			
支援方針		利用者の発達に応じて日常生活動作指導を行います 集団活動を通して利用者の社会性・自立心の発達を促します 利用者・ご家族同士の交流を深めるための行事を実施します			
営業時間		9時30分から	15時30分まで	送迎の実施	なし
支援内容					
本人支援	健康・生活	健康状態を維持できるよう心身の状態を確認し、体調の変化に早期対応できるよう細やかな観察を行います 必要な医療的ケアが適切に実施できるよう環境を整えます 生活のリズムや生活習慣の形成、基本的な生活スキルの獲得ができるよう、一人一人の身体状況や発達段階に応じて、食事や排泄、入浴などの支援を行います			
	運動・感覚	療育活動等を通して姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作、筋力の維持・強化を図ります 一人一人の状況に応じて、姿勢保持や運動、移動能力向上のための補助用具等が活用できるよう支援します 視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚等の感覚を活用できるよう、療育活動等を通して支援します 感覚を補うため、必要に応じて眼鏡や補聴器等が活用できるよう支援します			
	認知・行動	絵本や制作を通して季節を感じられるよう支援します あそびを通して、色や形、重さ、柔らかさなどの感覚を養います 色や形、音の変化など、周囲の環境に興味を持ち、行動につなげられるよう支援します			
	言語 コミュニケーション	療育活動等を通してたくさんの言葉に触れる機会をつくります 具体的な事物や体験と言葉の意味を結び付けて理解できるよう、職員が視覚的な支援や丁寧な声掛け、代弁を行います 自分の思いが伝わる経験ができるような支援、自分から伝えたい、発信したいと思えるような信頼関係の構築に努めます 一人一人の障害特性に応じ、ジェスチャー、指差し、絵カード、文字盤などの言葉以外のコミュニケーション手段が獲得できるよう支援します			
	人間関係 社会性	職員との関わりの中で人との関係を意識し、信頼感、安心感のある関係性が構築できるよう努めます 職員との関係性をベースに、他利用者へ関心が広げられるよう支援します 他利用者との活動や行事参加を通して、ルールや順番を守るなどの社会性の発達を支援します			
家族支援		福祉制度や医療的ケア、子育て等に関する相談援助を行います 利用中の本人の様子を伝え、家庭と連携した発達支援に努めます 家族同士が交流できる機会を提供します	移行支援		家族への情報提供や、進路・移行先の選択についての相談援助を行います 移行先との情報共有や、受け入れに必要な手技の伝達等を行います
地域支援・地域連携		相談支援事業所、他の通所事業所、保育所など関係機関との情報共有を行います		職員の質の向上 新採用者、異動者への研修実施 法定研修の実施（虐待防止、身体拘束、感染防止、メンタルヘルス、ハラスメント、個人情報保護等） 各種研究発表や外部研修への参加	
主な行事等		七夕、クリスマス、成人式、節分、ひな祭り、お誕生日会、季節の療育			